

(様式第4号)

第3回上田市男女共同参画推進委員会 会議概要

1 審議会名	第3回上田市男女共同参画推進委員会
2 日時	令和3年8月11日 午後2時00分から午後4時00分まで
3 会場	市民プラザ・ゆう 2階大会議室
4 出席者	丸山理英子会長、下倉亮一副会長、柿寫宣江委員、笠原邦正委員、柴田隆一委員、綿内美鈴委員、竹内梨恵委員、山浦和江委員、金子幸江委員、宮島範雄委員
5 市側出席者	城下市民まちづくり推進部長、佐藤人権男女共生課長、石田係長、松澤主査、特定非営利活動法人 SCOP (委託事業者)
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年8月17日

協 議 事 項 等

1 開 会 (佐藤課長)

2 あいさつ (城下部長)

3 協議事項

(1) 第4次上田市男女共同参画計画骨子案について

(ア) 計画のあり方について

・事務局から「資料1 計画のあり方の検討 (P.1~8)」について説明

・質問・意見など

(委員) 3ページ目の「第3次計画の特徴と第4次計画の見直しの方向性」のところに、「めざす姿をキャッチフレーズとして再検討」とあり、そのことに対しては賛成ではあるが、めざす姿とは、基本目標の3つを指しているのか。

また、計画の体制や構成をコンパクトにすることも賛成である。概要版の作成にあたっては、小・中学生が社会科の授業で使ってもらえるような、わかりやすさだとよいのではないかと考える。小・中学生あたりの人向けに書くような文章やイラストを挿入することによって、誰にとってもわかりやすい内容になるのではないかと思う。

(事務局) まず、めざす姿は、基本理念を目指しながら、上田市らしさを出せる目指す姿としていきたい。そのなかで、上田市らしさとは何か、皆さんからご意見をいただきつつ、考えていきたいと思う。次に、計画のスリム化する方法としては、重複をなくしてページ数を減らし、分かりやすくしていきたい。多くの人に手に取ってもらいたいということもあり、小・中学生に向けたような、わかりやすいものにできるよう、作成していきたい。

(会長) 私自身も、わかりやすい計画ということに賛成である。計画の冊子をもらっても内容が難しく、途中で読む気にならなかつたりするので、スリム化やシンプルでメリハリをつけた、小・中学生に向けたくらいでもわかる文章や、見やすさにするのは大切だと思う。

(イ) 計画の内容 (骨子案) について

・グループワーク前に、事務局から「資料1 計画の内容の検討 (P.10・11)」について説明

・基本目標別の重点施策に対して3グループに分かれて案や意見出し

・各グループのまとめと総括 (事務局より)

■ 学び

➤ 地域の方は、若者から学び、若者と学ぶ

⇒ 上田市に大学や専門学校が多くある強みを活かす。

- 家族の中での固定的役割分担意識の解消。
⇒家族の中で誰かが固定的役割分担意識を持っていることで、その家族全体で固定的意識を持ってしまう傾向があると思われるので、家族の中での固定的役割分担意識の解消。家族一人ひとりの意識解消を図る。
- 新しい学び
⇒例：研修などの実体験や、先輩などのロールモデルから話を聞くなど
- 学校での学び
⇒小学生もわかりやすい教科書などの教材を作成し、年齢関係なく、男女共同参画を学び、意識啓発を行う。若者たちは、学校で学んだことを継続して学習していく必要がある。

■ワークとライフ

- 誰もが働きやすい環境整備
⇒資料1に案として記載されている重点施策の「誰もが働きやすい環境の整備」と「ワーク・ライフ・バランスを実現するための多様な働き方の推進」をひとまとめにする。
- 雇用や経済活動におけるジェンダー平等へのさらなる強化
- 意思・方針決定の場への多様な人材の参画促進

■ウェルネス

- すべての世代の人々が、気軽に、自由に行動できる、皆が住みよいまちづくり
- ソフト面だけでなくハード面の整備
⇒例：子どもと遊べる公園など
- DV等相談しにくいことを気軽に相談できる居場所づくり
- あらゆる年代・世代、誰ひとり取り残さない安心できる地域づくり
⇒LINEやSNSなどを活用した相談の窓口を設置するのもよいが、行政の窓口や連絡は安心できるので、行政としてできる内容の検討が必要。

・質問・意見など

(部長) 誰一人取り残さず、あらゆる人々が活躍できる社会を目指すことが当然となっている社会において、今回、「第4次男女共同参画計画」を策定していく際に、どこまで踏み込んでいくかを考えていく必要がある。まだ、性別によって差がある部分は多く残っているので、今後も引き続き施策に取り入れながら、「誰一人残さない」という点にどのように触れて計画を策定していくか、皆さんと協議していきたい。

(会長) 私も、ダイバーシティや多様性が進む中で、この男女共同参画計画で、どこまで踏み込んでいけばいいかわからないけれど、未だ多くの点で女性の活躍が阻まれているのではないかと思う。偶然にも、女性には、足にくつつく床とガラスの天井があるという記事が新聞に載っており、足にくつつく床というのは、女性が活躍しようと思っても、それを阻む要因があって、一歩が踏み出せないということで、ガラスの天井は、活躍できる場面が現れても、また新たに阻む要因が現れるということを意味しているとのことだった。計画の中身については、男女共同参画ということ踏まえつつ、皆様の意見を取り入れていければよいと思う。

(委員) 計画のあり方検討の資料や、先ほど委員さんの意見にもあったように、小・中学生でもわ

かる内容にしていくという点で、「上田市自治基本条例」の概要版は、漫画になっていたのを思い出した。小・中学生向けに漫画版で作成するのは、わかりやすくいいのではないかと思う。また、世代別に作ることで、より多くの人に見てもらえ、活用してもらいやすいのではないか。

(部長)「わかりやすいもの」ということで、漫画版は予算の関係で難しいかもしれないが、平たい言葉で書くなど、工夫は最大限していきたい。

(2) その他

- ・次回委員会は、9月24日(金)14時～開催
- ・計画の愛称のアイデアについてもご意見頂戴していきたい。

4 閉 会 (佐藤課長)